

支援者ほっとライン



NHK (2011.9)によると、東日本大震災では被災地3県以外20歳以上の87.3%が募金や寄付をし、7.5%が支援活動に参加しているそうです。職場から派遣されて、あるいは自ら率先して、まったく個人で、やむにやまれず等々、多くの支援者が関わり続けています。未曾有の災害による被災地の復興には、想像を絶する時間が必要でしょう。国民がどれだけ長期にわたって関心を向け続けるか、それがまた、復興の底力になります。その間、支援者にもストレスが生じて来ます。支援者がストレスをそのままにしているのは、被災者への支援が滞ります。われわれ心の専門家は、支援者を支援し、被災者支援の輪を広げて人々のメンタルヘルスの向上に関わりたくと願っています。支援者のみな様、燃え尽きないために！ご利用下さい。どんなことがストレスか、どんなことが必要か、お教え下さい。



0120-596-373

(フリーダイヤル / ご苦勞・皆さん)

2013年3月末まで

(078-333-1985 もご利用いただけます)

(平日；月曜日 ~ 金曜日) (昼 12:00 ~ 午後 8:00)

**相談
(無料)**

Email : saigaishien7@gmail.com (メールでのご相談もご利用いただけます)

主催 : (社)日本精神神経科診療所協会 (担当理事/谷本健士 (神戸市 谷本神経クリニック)
<http://www.japc.or.jp/>

事務局 責任代表/小林 和 (神戸市 精療クリニック小林)
 〒650-0022 神戸市中央区元町通 2-8-14 オルタンシアビル 9階

後援 : みやぎ心のケアセンター, 日本精神衛生学会, 東日本大震災心理支援センター